

医学系研究実施のお知らせ

医学系研究「口腔セネストパチー患者の対処行動と脳血流変化に関する後方視的検討」に関する 研究実施のお知らせについて

当院では、最適な治療を患者さんに提供するために、病気の特徴を研究し、診断法、治療法の改善などを目指す医学系研究を行なっています。そのような医学系研究の一つとして、この研究も行われております。

このお知らせ文は、この研究の実施について皆様に知っていただき、研究内容を正しく理解していただくと同時に、対象者となられる方が研究不参加を望まれる場合にはその意思表示をしていただくためのものです。

なお、この研究は福岡学園倫理審査委員会の承認と、研究機関の長（福岡学園理事長水田祥代）からの許可を受けています。

1. 研究の対象となる方の条件

2017年4月1日から2024年3月31日までに、当院高齢者歯科を受診された口腔セネストパチーの患者さんで脳血流 SPECT 検査を受けた方が対象です。

目標症例数は7例です。

この研究において、ご自身の診療情報や試料等が利用されることを望まれない場合は、お手数ではありますが、下記相談窓口の担当者連絡先まで、ご一報ください。

2. 研究の目的や意義について

この研究では、口腔セネストパチーの患者さんで、一時的な症状改善につながるガム咀嚼や飲水などの対処行動の臨床的な意義を明らかにすることを目的としています。対処行動による脳血流所見の変化をみることで、対処行動自体の脳科学的な意味を検討します。

3. 研究の方法について

この研究を行う際は、対象となる方の診療録より以下の情報を取得します。また、保管されている脳血流 SPECT 検査の結果を用いて、Statistic parametric mapping (SPM) という方法で脳血流の変化を測定します。測定結果と取得した情報の関係性を分析し、対処行動の脳血流に対する影響を明らかにします。

[取得する情報]

性別、年齢、病悩期間、全身既往歴、脳血流 SPECT 検査結果

4. 試料・情報の利用予定日について

この研究において研究対象者から得られた試料・情報を、研究のために利用を開始するは、2024年9月9日からが予定されています。また予定されている研究期間は、2029年3月31日までです。この試料・情報がその期日を過ぎて利用されることはありません。

5. 試料や情報の管理について

この研究において研究対象者から得られた試料・情報の管理責任者は、学校法人福岡学園の理事長・水田祥代です。この研究において研究対象者から得られた情報は、研究終了後、福岡歯科大学総合歯科学講座高齢者歯科学分野において同分野准教授の梅崎陽二郎の管理の下、10年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。

6. 研究に関する情報や個人情報の開示について

この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の研究計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、ご連絡ください。

また、保有する個人情報のうち、ご本人等からの求めに応じて、ご本人との確認をさせていただいた上で情報を開示します。情報の開示を希望される方は、ご連絡ください。

7. 研究の実施体制について

| | |
|------------------|---|
| 研究実施場所 (分野名等) | 学校法人 福岡学園 福岡歯科大学 総合歯科学講座高齢者歯科学分野 |
| 研究責任者 | 福岡歯科大学 総合歯科学講座高齢者歯科学分野 准教授 梅崎陽二郎 |
| 研究実施者 | 福岡歯科大学 総合歯科学講座高齢者歯科学分野 教授 内藤徹 福岡歯科大学 総合歯科学講座高齢者歯科学分野 准教授 梅崎陽二郎 |

8. 相談窓口について

この研究に関してご質問や相談等ある場合は、下記担当者までご連絡ください。

| | |
|---------------|--|
| 事務局 (相談窓口) | 福岡歯科大学 総合歯科学講座高齢者歯科学分野 准教授 梅崎陽二郎 連絡先：〔TEL〕 092-801-0411 (内線 8409) 〔FAX〕 092-801-0475 メールアドレス：umezaki@fdcn.ac.jp |
|---------------|--|

(作成日：2024年7月22日 最終修正日8月2日)